


CASBEE®-戸建(新築)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2016v1.0

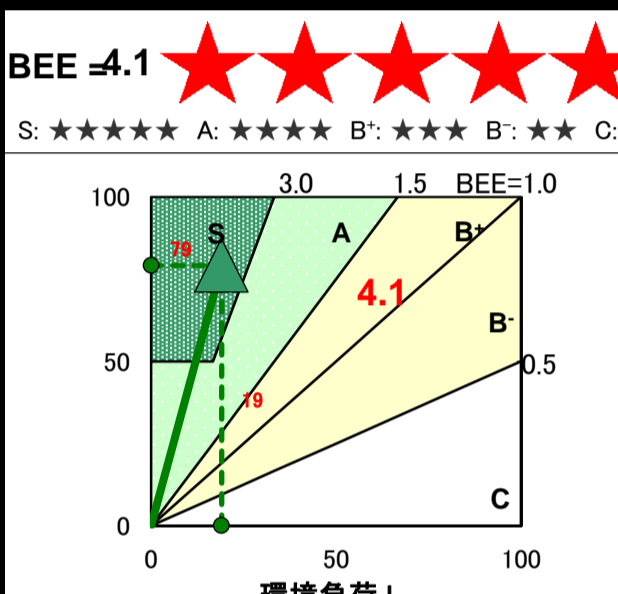
評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	町田市相原町B1棟新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2017年11月	竣工			
建設地	東京都町田市相原町215-4				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造・在来工法	確定	〈備考〉		
階数	2		評価の実施日	2017年10月20日	
敷地面積	138 m ²	確定	作成者	五光ハウジング株式会社 石山辰巳	
建築面積	57 m ²	確定	確認日	2017年10月20日	
延床面積	110 m ²		確認者		
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =4.1 ★★★★★★

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C:



環境負荷 L

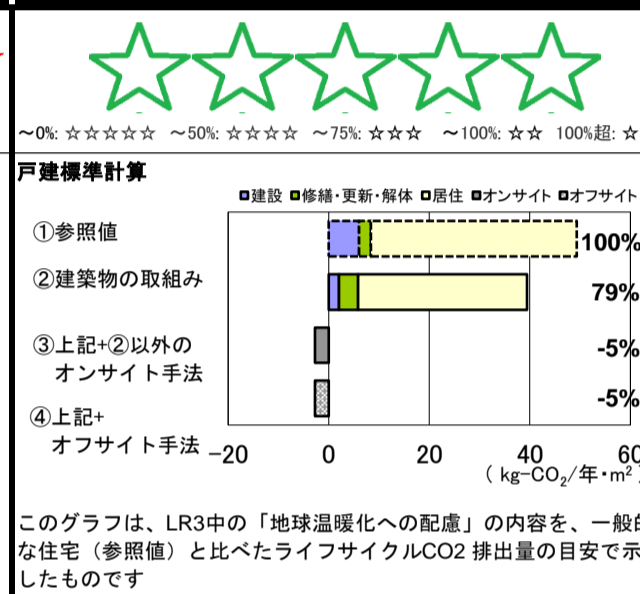
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

~0%: ★★★★★ ~50%: ★★★★★ ~75%: ★★★★★ ~100%: ★★★★★ 100%超: ★

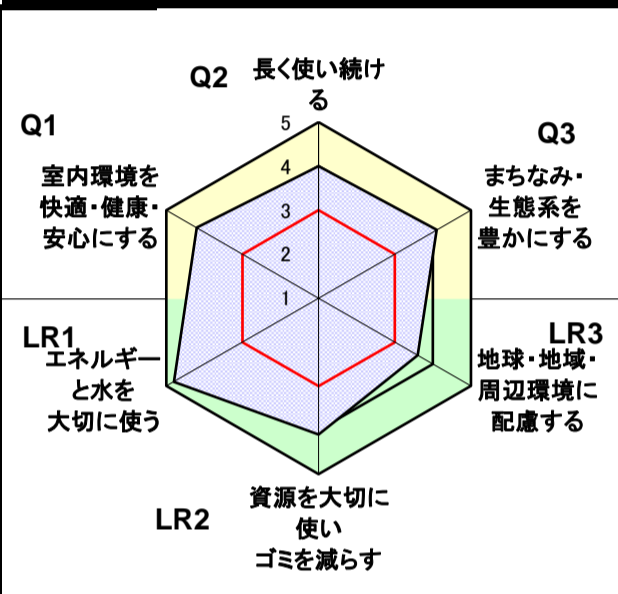
戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

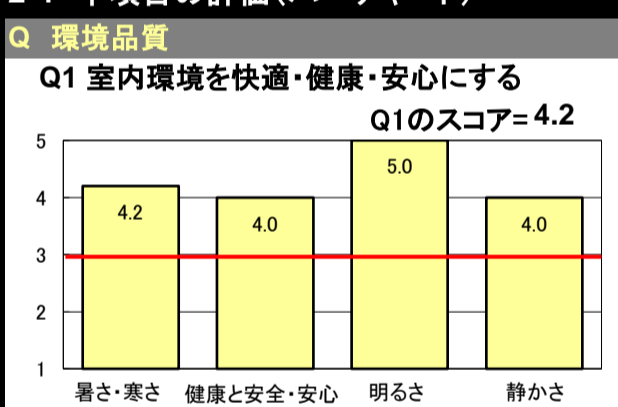
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.1

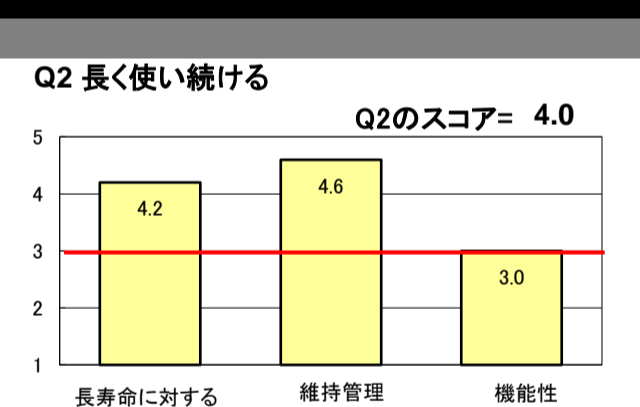
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.2



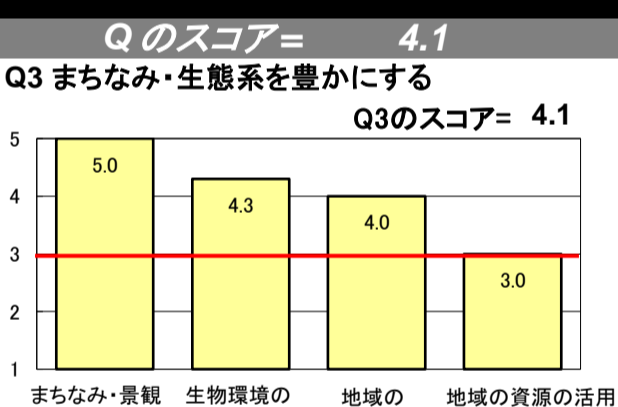
Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 4.0



Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

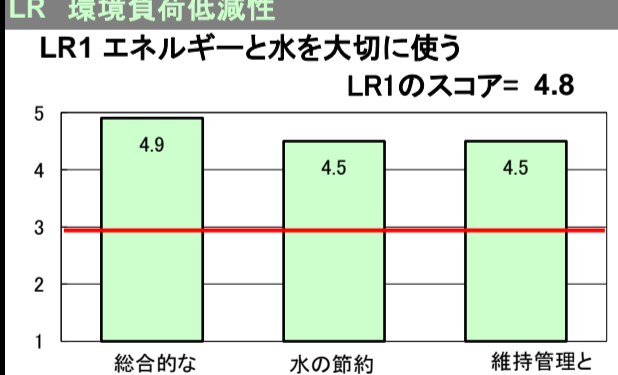
Q3のスコア= 4.1



LR のスコア = 4.2

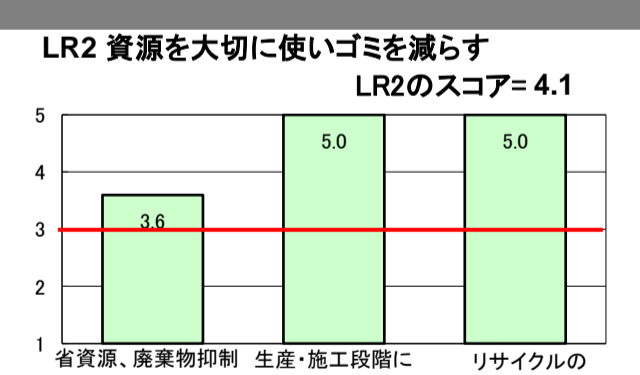
LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.8



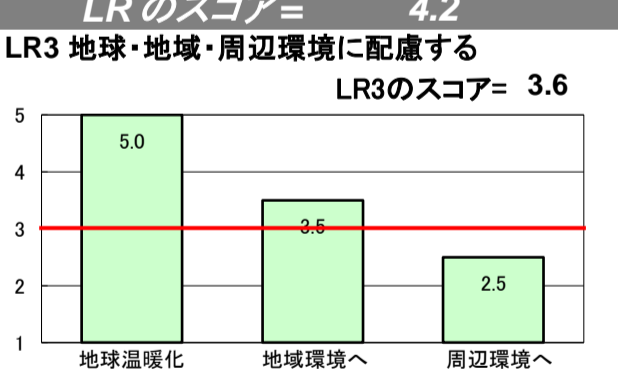
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 4.1



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 3.6



3 設計上の配慮事項		その他
総合 居住者が建物を長期間利用できるよう、耐久性や維持管理容易さ、快適な住環境を目指した。また、住宅で使用するエネルギーを太陽光発電とエネファームにて賄い、蓄電池やHEMSにて効率的に利用することにより、住宅が使用する一次エネルギーの消費削減など、環境に与える負荷が小さい建物である。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 自然採光、通風等も考慮しており、優れた断熱性、適切な冷暖房設備で快適な室内環境を保てる。	Q2 長く使い続ける 耐震等級3、劣化等級3等、長期間の仕様に耐えられる材料や仕様を採用する。維持管理などにメンテナンスの容易さ、維持管理が可能な情報提供を用意している。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 敷地内の緑化に取り組み、街並みに配慮した生垣を採用した。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 高い断熱性能で、冷暖房エネルギーを抑えており、水栓等を節水タイプを採用し節水に努めた。また、太陽光発電とエネファームで創エネルギー図っている。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造材のプレカット納材等で、産廃物の削減している。また、リサイクル材、再生可能材の積極的な採用を図っている。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 浸透樹の採用によるインフラ負荷の低減や、敷地内の緑化を図り環境への負荷を軽減に努めている。